

ブリーフレーター Brief Letter 67

人と地域と医療を繋ぐ 秋本病院の情報誌

特集

秋本病院の外来診療紹介 ～皆様の信頼にこたえられる病院を目指して～



千一夜医話 秋本病院理事長・院長
秋本 亮一

●給食室より～特別編～／正月料理「博多雑煮」「きんとん」



医療法人 AGIH
秋本病院

〔救急告示病院〕〔日本医療機能評価機構認定病院〕
消化器内視鏡センター／健診センター／緩和ケアセンター

SHOP
散策

THE BASKET

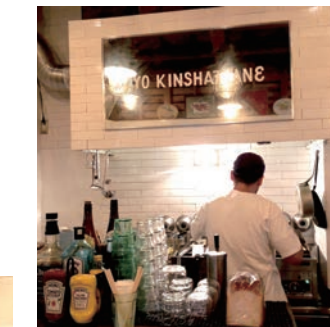
ボリューム満点！ ビールにも合う ジューシーハンバーガー

今回は2019年3月に薬院六つ角にオープンした、ハンバーガーとサンドイッチのお店「THE BASKET (ザ バスケット)」をご紹介します。夜はクラフトビールが飲める酒場にもなる、カウンター 8席の小さなお店です。

100% USアンガスビーフの手こねのパティが売りの、大手チェーンとは違った極上のハンバーガーです。注文してから焼き始めるので出来立て、熱々がいただけます。いろいろな種類があり、またトッピングも追加できるので自分好みの一品を作ってもらえます。すべてのメニューに揚げたての細切りカリカリポテトがついています。

お店は筆者が昔アメリカ在住のころ車で旅行した折に立ち寄った、古き良きアメリカの田舎町のショップのようなノスタルジックな雰囲気があります。

話題のフードデリバリーサービス「ウーバーイーツ」の利用も可能だということなので、ぜひ一度お試しください。



▲夜はハンバーガーやおつまみもあり、クラフトビールが楽しめるバースタイルに変わります

◀店主の原野光雄さんたちが笑顔で迎えてくれます！



▲店主・原野さんが作るバーガーはジューシーで、肉の旨味をダイレクトに感じられます

店舗
情報

THE BASKET
(ザ バスケット)



住 所：福岡市中央区薬院 1-12-15
電 話：092-406-7939
営業時間：11:30～16:00(LO15:30)
18:00～23:00(フードLO22:00、ドリンクLO22:30)
定 休 日：不定休

編集後記



スポーツの秋、食欲の秋と言われますので、運動や食事について考えました。日本動脈硬化学会編の「動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017年版」には以下のように書いてあります。“動物性脂肪、果糖を含む加工食品を控える”“大豆、魚、野菜、海藻、きのこ、果物、未精製穀類の摂取を増やす”“有酸素運動を毎日30分以上実施する”。

私は食事を工夫して、水泳と長距離走を始めたところ、1年で血液検査の値が改善しました。病気がある方は医療者に相談した上で食事や運動内容を決められるべきですが、現在治療すべき病気がなければ参考にさせていただけるかもしれません。(2019.11 大庭)

秋本病院 ブリーフレーター No.67 2019 年 12 月発行 発行者／秋本亮一 発行所／医療法人 AGIH 秋本病院 デザイン／有限会社 広告農場 編集／矢野 美恵子
Copyright 2019 Akimoto Hospital All rights reserved.

医療法人 AGIH 秋本病院 福岡市中央区警固 1-8-3

TEL:092-771-6361

●診療科目：外科(消化器外科)・内科・胃腸科・肛門科・整形外科・脳神経外科・麻酔科

●外来診療受付：平日8:30～12:30/14:00～17:00 土曜 8:30～12:00 ●休診日：日・祝

<http://www.akimoto-hospital.jp/>

秋本病院
の理念

1. 専門医療を通じ、地域社会に貢献します。
2. 皆さまのご満足と安心のために、医療に関する十分な情報を提供します。
3. 質の高い心のこもった医療を続けるために、常に研鑽努力します。

秋本病院の外来診療紹介

～皆様の信頼にこたえられる病院を目指して～

特集



診療科の紹介

★外科

ケガなどの外傷や手術を要する疾患を診療します。例えば、消化器癌や急性虫垂炎（いわゆる盲腸）などは外科の守備範囲です。肛門科は外科で診察します。

★内科

体調不良や発熱などの病気の他、生活習慣病の指導などを行います。当院の内科の担当医はそれ



外来診療紹介

高度医療を行う総合病院とも違う、入院病床を持たない診療所（クリニック）とも違う、そんな秋本病院の外来診療を紹介します。簡単に言えば、両者の中間。診療所やクリニックのような「かかりつけ医」機能もあるし、一部の専門医療機能もあるといったところでしょうか。また、救急告示病院として365日救急患者さまを受け入れており、様々な疾患の患者さまの一時的な治療を行う総合医としての役割も行っていきます。



させる診療科です。療養中の苦痛を和らげるお手伝いをします。

★禁煙外来

ニコチン依存症の治療をします。

★小児予防接種外来

小児科専門医が診察します。病児との接触がないのが良いところです。

それぞれ専門性を持っており、曜日により肝臓、消化器病、膠原病、循環器、呼吸器、感染症、血液疾患、漢方を専門とする担当医が診療しています。

★整形外科
運動器の外傷や疾患を治療します。当院では、溝口外科整形外科病院と九州大学病院整形外科からバックアップしていただいています。

★脳神経外科
頭部外傷を中心に脳卒中（脳出血や脳梗塞）、さらに頭痛やめまい、けいれんなどの疾患の診療をしています。

★麻酔科
帯状疱疹や難治性疼痛の治療をしています。

専門外来の紹介

★緩和ケア

がん治療中あるいはがんで療養中の患者さまの症状を軽減（緩和）

の高い高度医療を要する場合は、それぞれに適した連携医療機関に依頼をしています。

外来受付時間

月曜～金曜
午前の部 8時30分～12時30分
午後の部 14時～17時

土曜
午前の部 8時30分～12時
午後の部は休診

日曜・祭日

通常の外来診療はお休みです。但し、緊急を要する患者さまは随時（夜間や日祭日も）受付しています。

●予約

診療終了時や電話で時間予約を受け付けています。時間予約がいっぱいの時は、時間枠外予約として時間予約の方の間に先着順で診療します。予約がない方は、さらにその間で診療します。

●診療科目

外科（消化器外科）、内科、胃腸科、肛門科、整形外科、脳神経外科、麻酔科

●専門外来

緩和ケア、禁煙、小児予防接種

当院の患者さまは、健診で病気を指摘された方や、福岡市で70年以上も開業しているため昔からのかかりつけの方など、さまざまです。私も20年以上勤務していますので患者さまの顔はほとんど覚えています。（短期記憶は怪しいのですが…笑）

何科に相談したらわからないなど疑問や不安などがございましたら、何でもお尋ねください。看板娘など厚かましいことは言えませんが、せめて看板おばさんでありたいと今日も待合室を走っています。

こんにちは！
外来師長の西原です





秋本病院 理事長・院長
あきもと りょういち
秋本 亮一

千一夜医話

「老人力」

高齢運転者の運転ミスによる交通事故、高齢者施設での介護力不足、年金不足で2000万円の貯蓄必要、などなど高齢者問題は毎日のように新聞紙面を賑わせています。そして『2025年問題』はもう目の前です。超高齢化社会はすでに始まっており、このようにどんどん顕著になってきました。少子化で労働人口が激減し、超高齢化で医療や介護の費用が猛スピードで増大しています。「医療や介護にかかる財源がありません」というのが政府の見解のようです。

厚生労働省は9月に高度急性期もしくは急性期の病床を持つ公立・公的医療機関等1455病院中、424病院（29・1％）の病院名を公表し、2025年の地域医療構想を踏まえ再編統合など具体的対応方針の再検証するように求めました。また、財務省は来年度の診療報酬本体をマイナス改定するように提言をしています。われわれ（医療者も患者も）は高度成長期に確立した現在の保健医療制度を、いつまでもこれまでと同じように享受することはできなくなつたということです。応分の負担

が全国民に必要ということなのでしょう。さて、ところで、高齢者は社会のお荷物なのでしょうか？ かつて長寿はとてもありがたいことで、高齢者は社会で大切にされてきました。もちろん、「槇山節考」や「恍惚の人」など、すでに問題は指摘されていました。

ここで「老人力」という言葉を思い出します。これは平成9年、作家の赤瀬川原平氏が還暦になった時に提唱し、「物忘れが激しくなった」など老化による衰えというマイナス思考を「老人力がついてきた」というプラス思考へ転換する逆転の発想でした。赤瀬川氏自身は

“ふつうは歳をとったとか、モロクしたとか、あいつもだいぶボケたとかいうんだけど、そういう言葉の代りに、
「あいつもかなり老人力がついてきた」というふうにいるのである。そうすると何だか、歳をとることに積極性が出てきてなかなかいい。”

と表現しています。楽しいですね。

若さが美化され称賛され過ぎ、年長者が若者に小言を言うことが少なくなりました。年長者は知識や経験は豊富で、いつまでも若者に小言をいう存在でありたいと思います。そして、今や高齢者は年金なんかあてにできません。老人力を発揮していつまでも働いて、積極的で楽しい余生を過ごしていただきたいものです。



健康優良児



私が若い母親だったころ「赤ちゃんコンクール」というのが流行った。昭和三十九年の秋のことだったが、当時、私たち親子三人は東京都練馬区石神井のキャベツと大根畑の中の小さなアパートに住んでいた。

故郷長崎には、初孫と会うのを心待ちにしている祖父母が居て、誕生日前後の10日間をそこで過ごして帰京した。そして満一歳の娘の健康診断のために練馬保健所に行くと、「つい数日前に赤ちゃんコンクールが終わったばかりですが、まだ発表前なので、お宅の赤ちゃんを1等にさせていただきます。」と請われ、むろん喜んで承諾させてもらった。三等までの赤ちゃんは、次は東京都大会に練馬代表として進出である。

結果は、またしても一等になった。都知事の名前で表彰状と数々の商品を買ひ、翌日の各新聞には母子の名前が掲載された。多分に鼻高々だった母親の私の気持ち、お察しあれ！都のコンクール会場は広い体育館ではあったけれど、何しろ23区の他に、いくつかの保健所も加えて、百余の赤ちゃんとその保護者、関係者

松尾 鞠

を含めると、ざっと三百人が集まったのだ。大変な騒ぎだった。

幅60センチくらいの細長いテーブルを繋いだ7×8メートルの台が会場の真ん中に据えられて、その左右に審査員の先生方が20人ほど居並んでいらつしやる。その台の端に立たされた赤ちゃんは、反対の端から「○ちゃん、○ちゃん」と必死に叫んでいる母親の姿に向かってヨチヨチ、バタバタ、ハイハイしながら泣き叫び歩み寄る。両側の先生方は、太腿や腕腹などを触りまくり、ほくろや染み、虫刺されの有無、肌の弾力や艶を確かめるのだ。当の赤ちゃんにとっては大変な恐怖で、さながら阿鼻叫喚の図である。

わが娘も、必死の形相で「チャーン」と泣きながら私のほうへヨタヨタと歩いてくる。私も泣けて来る。どんなに未熟な母親でも満腹の信頼と親愛を込めて走り寄る我子に、こんなつらい思いをさせたことを後悔するのだった。

ちなみに「赤ちゃんコンクール」は、この昭和三十九年の催しを以って終わりとなった。

病院機能評価の審査を受けて



秋本病院は、過去に4度、病院機能の審査をパスし「認定病院」として認められています。今回、9月26・27日に日本医療機能評価機構より「認定病院」の審査を受けました。さて、「認定病院」とは何でしょうか？

「認定病院」とは、地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、日常的に努力している病院であると第三者機関より認められているという事です。

我々は医療者として仕事をしていきますと、日々の仕事に追われ、現在の社会的状況にあった病院へアップデートする事はなかなか容易ではありません。そこで、「日本医療機能評価機構」の審査を受けることによって、病院機能を最新の状態で磨

き上げています。

具体的には、【患者中心の医療の推進】「良質な医療の実践」【理念達成に向けた組織運営】の3本柱を中心に細かな領域に問題がないか、改善の必要があるのかが問われます。当院の全スタッフが一丸となり、さまざまな病院仕様を刷新し審査を終了しました。

本年末には、5度目の「認定病院」となる予定です。これからも地域に信頼される病院を保てるよう研鑽努力を続けたいと思います。

診療部長 井上 欣哉



管理栄養士
さかもと えり こ
坂本 英里子

患者さまにも大好評！

正月料理「博多雑煮」「きんとん」

当院では毎年、元日と1月2日の2日間、入院中の患者さまにお正月料理をお出ししています。朝食には博多雑煮、昼食にはおせちのお弁当、夕食はきんとんや松風焼きなどの盛り合わせを提供しています。今回はその中から、患者さまに好評の「博多雑煮」と「きんとん」のレシピをご紹介します。



1「博多雑煮」

博多雑煮はあごだし、ブリ、かつお菜、という3つの特徴があります。とびうおの煮干である「あご」を使用しただしは、あっさりしていますが、うまみも凝縮されています。ブリは、ツバス→ハマチ→メジロ→ブリと出世していく出世魚で、縁起の良さから、おめでたい席には欠かせない魚です。九州の伝統野菜であるかつお菜は、博多に古くから伝わる高菜の仲間で、茎の部分の味がカツオ節に似ていることが名前の由来といわれています。



材料(4人分)

<だし>	<具材>
焼きあご.....1尾	餅.....2個(お好みで)
だし昆布.....5cm×5cm1枚	大根(もちの下に敷く).....少々
淡口醤油.....約30cc	ブリ.....1切れ
水.....1ℓ	かつお菜.....適量
	金時人参(花形).....1枚
	椎茸.....1枚
	柚子皮(千切り).....適量

作り方

- だし作り
焼きあごは、そのままの状態です。頭と内臓を取らず、2〜3つに折って昆布と水に一晩ほど浸す。翌日、その状態のまま鍋に移し中火にかける。沸騰直前に火を止め、そのままの状態です。5分程置いて冷ます。ある程度冷めたら焼きあごと昆布を鍋から取り出す。淡口醤油で味をととのえる。
- 具材の準備
ブリは酒をふって臭みを取り、焼く。かつお菜は茹でて食べやすい大きさに切っておく。大根は薄くちょう切りにして火を通す。金時人参と椎茸は軽く味をつけて煮る。もちは食べやすい固さになるように火を通す。
- 盛り付け
お椀に大根、餅の順に盛り付け、その上に残りの具材をのせる。
- のだしをそそぐ。

材料(1人分)

さつまいも.....	30g
栗の甘露煮.....	適量
クチナシの実.....	1個
A.....	10g(お好みで)
砂糖.....	少々
塩.....	適量
栗の甘露煮のシロップ.....	適量

作り方

- さつまいもは厚さ2cmの輪切りにし、皮を厚く(皮の内側の輪の部分まで)むき、水にさらす。
- クチナシの実を2〜3つに砕き、お茶用紙バックなどに入れる。
- 鍋にさつまいもとたっぷりの水、②のクチナシを入れて火にかけ、柔らかくなるまで煮る。
- さつまいもが熱いうちに裏ごしし、鍋に入れる。Aを加えて火にかけて、手早く冷ますとテリが出る。
- ラップを使って食べやすい大きさに丸め、栗をのせる。

2「きんとん」

きんとんの黄色は金貨の色、財産が貯まるようにという願いが込められているそうです。きんとんをきれいな黄色にするために「クチナシの実」を使用します。手が濡れていると、手にも色がつきやすいので注意して扱ってくださいね。

第26回 秋本メディカルセミナー
「救急救命講習会」を開催しました

「心肺蘇生」とは、病気やけがにより突然、心肺停止もしくはこれに近い状態になったときに心臓マッサージのため胸骨圧迫及び人工呼吸を行うことをいいます。人間が生きている限り体全ての細胞は酸素を必要としています。心肺停止状態とは心臓と呼吸がとまった状態です。心臓は全身に酸素を届ける役割があります。脳への酸素供給が3〜4分以上停止してしまうと脳へのダメージは避けられないといわれています。

福岡市の昨年の救急要請件数は約8万件あり福岡市内の救急車は30台で、現状では救急車が現場に到着するまでの時間は平均7分30秒かかっているそうです。そのためその場に居合わせた人(バイスタンダー)による適切な救命処置が傷病者の多くの命を大きく左右します。救急車到着までの間にバイ



スタンダーが傷病者に心肺蘇生を始めると救命率が2〜3倍増えると言われています。

当院では昨年に引き続き、福岡市消防局の方を講師にお迎えして救急救命講習会を開催しました。今年は小学1年生から幅広い年齢層に参加していただきました。人形を利用して胸骨圧迫の実践、自動体外式除細動器(AED)の扱いを中心に実践し、胸骨圧迫で重要な事は『強く・早く・絶え間なく』が



ポイントだと教わりました。実践することで参加者へポイントが伝わったのではないかと思います。

今回の救命講習会を通して、各自が1つ1つの行動を再確認する機会となり良い体験となりました。家族や身近な人たちが急病になった時、とっさの行動や判断が重要になります。今回参加された方の中で胸骨圧迫やAEDが必要な場面に出くわした時に、今回のことが少しでもお役に立てば幸いです。

AKIMOTO NEWS

お知らせ

インフルエンザワクチン
接種について

接種日/月曜〜金曜(外来受付17時まで)
料金/13歳以上 4,300円
13歳未満 3,400円(1回) ※接種回数2回(2〜4週間隔)

★下記の市町村補助接種対象者は自己負担金が1,500円になります。(福岡市の住民が2020年1月31日までに接種の場合)

- 65歳以上
- 満60歳以上65歳未満の人で心臓・腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫ウイルスによる免疫機能に、障害を有する者

年末年始の診療について

年末年始の診療は12月30日(月)午後〜1月3日(金)まで休日体制にいたします。1月4日(土)より通常通り診療を開始します。
※急患は24時間受け付けています

11/10(日)〜24(日)

大相撲九州場所やふれ太鼓、
新弟子検査が行われました！

大相撲九州場所が、11月10日〜24日まで福岡国際センターで行われました。ラグビー同様、今年も生身の体がぶつかり合う迫力ある取り組みが繰り広げられました。初日の前日には、江戸時代から続く「ふれ太鼓」も行われます。太鼓を叩きながら町を巡回し、取り組みを読み上げ、興行が始まることを告げる行事が当院にも来られます。迫力のある太鼓と呼び出しの声は一見の価値あります。

また、当院では毎年、新弟子検査を行っています。今年は2名だけでしたが身長167cm、体重67kg以上という基準は無事クリアできたようです。(入舟 亜矢)